

# なが 長靴をはいたねこ



15世紀のヨーロッパでは長靴(ブーツ)は騎士が馬に乗るときに必要な靴でした。つまり長靴をはくことは騎士(ナイト)であることしるしだったのです。ねこのジャンは冒険で主人である少年に「長靴をください」と言って自分の格好を整えます。騎士の身なりにはすることは、同時に自分の仕える主人が身分の高い人間であることを示します。そうすればただの貧しい少年とねこでも、周囲の信頼を得られるだろう、というのがねこの作戦だったのです。

## おはなし

むかしむかし、3人のむすこをもった粉屋がいました。その粉屋が死んで、上のいさんは水車小屋を、下のいさんはロバをもらいました。いちばん下のおとうとが、ねこしかもらえずがっかりしていると、そのねこが言いました。「ご心配なく、ご主人さま。わたくしに、ふくろをひとつと長靴を一足くださいな。」

ねこにはどんな作戦・考えがあるのでしょうか？

きれいなお姫さま、りっぱなお城、そしてそこに住んでいる

人喰い鬼とねこの知恵くらべ。

長靴をはいたねこの大活躍に主人もびっくり！



## 会場アクセス

車でお越しの場合/名神高速道路湖東三山SIC(ETC専用)から国道307号線を左折(約200m)、上蚊野交差点を右折し4つ目の信号左折すぐ。

JRでお越しの場合/JR稲枝駅ほか愛荘町内外の停留所から「愛のリタクシー」なら、400円でお越しいただけます。ご乗車の1時間前までに近江タクシー(0749-22-1111)へお電話ください。

## 愛荘町立 ハーティーセンター秦荘

〒529-1234 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子822番地

Tel 0749-37-4110 Fax 0749-37-4113

URL:<http://www.heartycenter.jp/>

E-mail: [info@heartycenter.jp](mailto:info@heartycenter.jp)

## 会場アクセスマップ

